

# 道道中央東線(山手ルート)の整備促進

## 現状と課題

道道中央東線は、市内中央地区から東地区まで絵鞆半島との外環状道路の役目を果たす幹線道路であり、白鳥大橋～測量山・Mランド～地球岬を繋ぐ観光ルートや室蘭新道及び市道母恋東町通線の災害時代替ルートとして重要な路線となっています。しかし、認定区間の一部が未だ未供用区間であり、中央地区から地球岬へのアクセスルートは屈曲かつ狭隘なルートしかないため、大型バスの通行は不可能で、年間約20万人の観光客が訪れる地球岬へのバスのアクセスは、市道母恋中央通の往復が唯一のルートとなり景勝地を周遊できるルートを望む観光ニーズに合わず、本市の観光振興に大きな支障となっています。

また、西いぶり6市町による定住自立圏中心市である室蘭市の中央地区は、圏域救急医療を担う災害拠点病院による地域医療体制、官公庁が集中した広域行政拠点機能や東日本大震災でも出動した防災フロートが係留する室蘭港の防災機能などが集積し、救命及び災害時のアクセス強化が必要であることに加え、北海道の津波浸水予測では中央地区は市街地部の広範囲に渡り浸水するため、津波が来るまでの限られた時間でのスムーズな避難が重要な課題でもあり、高台に繋がる山手ルートの整備が強く求められています。

## 要望内容

### ●道道中央東線（山手ルート）の整備促進



## 事業効果

- 北海道を代表する景勝地「地球岬」～中央地区～白鳥大橋を結ぶ広域観光ルートの形成及び観光資源の有効利用
- 救命及び災害時における国道等の代替ルートの確保
- 災害拠点病院、広域行政施設へのネットワーク強化による地域医療体制、広域行政拠点、防災都市拠点の機能強化
- 蘭西地区のまちなか再生及びみなとまちづくりと連携した個性ある地域形成
- 地域住民及び通学生徒の安全性確保など生活道路機能の向上、地震（津波）災害時における安全迅速な避難路の確保